令和8年度　第2回　鹿島区地域協議会　会議録

＜地域協議会の日時・場所＞
1．日　時：令和８年5月27日（水）
　　午後１時 30 分～午後４時00分
2．場　所：鹿島区役所２階大会議室

【　会　議　録　】

1　開　会

○事務局
　地域協議会成立要件の確認

委員数 15 名
【出席委員数】 13名
　高野邦弘、但野治秀、北元幸一、太田真樹子、後藤英之、浜名美惠子、後藤英之
　草野繁春、鈴木清教、塙龍太郎、大河内俊樹、草野禎夫、佐藤慎治、

【欠席委員数】 2名
　今野愛、小倉タカ子
　上記のとおり、委員の過半数の出席のため成立していることを確認します。

2　会長あいさつ
　　高野会長よりあいさつ

3　区役所長あいさつ

4　会議録署名人の指名
　　高野会長が会議録署名人に北元幸一委員と太田真樹子委員を指名した。

5 議 事

(1)　報告事項

① 南相馬鹿島サービスエリア周辺開発について

〇高野会長　議事に入ります。南相馬鹿島サービスエリア周辺開発について、議題といたします。担当課に説明を求めます。

≪　南相馬鹿島サービスエリア周辺開発について　　資料1　により説明　　≫

〇高野会長　只今の説明に対し質疑に入ります。ご質問がございましたらば挙手の上、ご発言をお願いいたします。佐藤委員、お願いします。

〇佐藤慎治委員　三つ質問します。1つ目、常磐自動車道の4車線化が進むとなってるんですが、いつ頃に4車線になるのでしょうか。2つ目、ネクスコ東日本との交渉はどのような感じで進んでいるのでしょうか。3つ目、10ページに売り上げが年間33億9千万円となってますが、この根拠はどうなってるのでしょうか。安達太良での年間売り上げが30億から33億ですから、東北自動車道のそこと同じように考えているのであれば、年間利用台数が3万台で利用客数が500万人。そのぐらいが、セデッテかしまに来ると予想しているんですか。

〇観光移住課　3点ご質問いただきました。まず常磐道の4車線化については順次進めるところなんですけども、双葉郡のところに東北自動車の4車線化がまだ正式に決まっていないところがありまして、全線4車線化についてはまだ見通しが立っていないというところではございます。4車線化で物理的に通行量が増えることも重要だと思いますけども、今回我々が目指しているところとしては、立ち寄り率を上げることです。来場者数を増やしていくというところをまずは考えているということでございます。

2点目のネクスコとの協議に関して、昨年の12月にネクスコ東日本さんと連携協定の締結を行っております。その協定に基づきまして、今年の2月に1回目の勉強会を開催して、高速道路とつながるエリアの面積や機能が変わることで必要な手続きを協議しております。さらに6月には二回目を予定しておりまして、その中でさらに内容を詰めていく予定でございます。

3点目の33億円の根拠については、 基本計画の中で根拠となるところを示しているところでございます。250万人が来場した場合を想定しているわけですけども、そ

のうち物販施設に、51.1％の人が立ち寄ったとして、利用者単価については1000円と想定しました。飲食、温浴、自然体験施設等々、宿泊施設などについてそれぞれ設定をしながらシミュレーションをしました。物販施設飲食施設の見込み客数に関しては、ネクスコ中日本のデータを使わせていただいて、そちらの立ち寄り率と客単価を利用しながら試算をさせていただいたところでございます。

○佐藤慎治委員　鳥の海に来る年間台数は15000台なんですよ。四倉は13000台なんです。ここの中間が2車線なのでそれよりは下がると思う。ですが安達太良サービスエリアと同じ33億円が稼げる根拠が私は弱いと思うんです。それよりも4車線化を進めるためにはどこへどのように働きかけたらいいのかを市全体とか、相双全体で協議して、そういうところに働きかける方がその前にやることだと思っているんです。夢物語を実現するためには何をしたらいいのかもう少し検討するべきなんじゃないかと思います。いかがでしょうか。

○観光移住課　しかるべきところに要望するべきじゃないかというお話ですけども、震災後継続して、国交省であったり、復興庁であったり、そういうところに南相馬市を始めとして双葉郡の被災自治体とともに4車線化の要望は継続して行っております。今回の基本計画で見積もっている250万人に関しては、全線4車線化を想定しない状態での試算なので、4車線化が実現しなくても250万人いけると我々の方では考えているということです。以上です。

○高野会長　佐藤委員よろしいですか。

○佐藤慎治委員　安達太良サービスエリアと比較して同じところまで行くのは現実的じゃないと思う。私は150万人だって十分に魅力的だと思うんですよ。どうしても東北道じゃなくて、常磐道を使いたい魅力があればいいですけども、四倉もあるし、鳥の海もあるけども、そこは4車線でもその人数なわけで、鹿島に絶対まわって仙台に行きたいと思われるような目玉を持ってお話ししてるのかなと思ったものですから聞きました。

○観光移住課　だからこそ周辺開発の意義があると思っています。今、セデッテかしまが持っている機能は、飲食機能と物販機能ということで、どこのSAにもある機能です。あとはその良し悪しの差だと思っていまして、立ち寄っていただいた方にこの地域を印象づけるのは難しいんだと思います。では、この地域の魅力をしっかりと前面に押し出していくのは何かと言ったら、馬であると考えております。 例えば乗馬ができたり、馬に出会ったり、野馬追の文化に触れられたりと言ったような体験型のコンテンツを持つサービスエリアは中々存在しないところがありますので、このサービスエリアで唯一無二の体験を提供することで、利用者数を増やしていきたいと考えて

おります。以上です。

○高野会長　では、草野委員、よろしくお願いします。

○草野繁春委員　サービスエリアには非常に期待してる者としての意見を述べさせてもらいます。私も七十年鹿島に住んでまして、鹿島に似合った観光地が実は海。これが非常にいい場所だったんですね。右田浜、烏崎浜、そこにはキャンプ場もありましたし、B&Gもありましたし、そこに新たな施設を作るにあたって合併したそういう状況があります。それが今回、津波によってなくなっちゃったんですね。そういう中で、セデッテかしまは、この3区の中で愛着心が一番ちょっと少ない地域なんですよね。誇れるものがないんだと思うんですよ。前はそういう海があって思い出をいっぱい作れた。何もしなければ、どんどん人口減っていきますし、何もしない地域はそのまま衰退してくという恐れがあるんですよね。セデッテかしまに対して、ぜひ誇れるような地域にしていただきたいという期待を持っております。

　この公共的な方の具体的な事業的な進捗状況はどうなってますか。セデッテかしまの周辺は魅力的な場所でありますが、拡張余地もどのようにこう考えているのか。拡張余地を生かす事によって、この鹿島町地域全体がガラッと変わる可能性もあるんですよね。そういう期待を込めて、そういう市の考え方を伺いたいと思います。

○高野会長　はい、担当課の回答をお願いいたします。

○観光移住課　まず公共事業の進捗状況について、野馬追伝承施設ということで、野馬追の文化を来場いただいた方にしっかり伝えて、博物館的に学習材料として提供するよりは、野馬追の迫力や関心を持っていただけるような見せ方をしていきたいと考えております。他の地域との違いは、馬と人との距離感だと思っていまして、日常生活の中に馬が溶け込んでる特異性みたいなところをしっかりと感じていただくような展示などのコンテンツを考えています。もう一つ併設して牧場を設置することを想定しておりまして、そこでは乗馬体験や馬とのふれあいをやっていきたいなと思ってるんですけども、まだ検討段階ではありますけど、以前、栃窪にポニー牧場がございました。そこで青少年育成みたいなこともやっておりましたので、そういった馬と教育を結びつけたようなコンテンツもできないか、ということを目標としてるところでございます。

　二点目の拡張余地につきましては、今回基本計画の中で、我々が想定する民間の収益施設も含めて、大体8ヘクタールから9ヘクタールぐらい必要だということで、今のセデッテかしまへの進入路の南側については、基本的には手つかずの状態で置いてあるわけですけども、今後、民間事業者からの提案によってはそこも利用して、全体的な魅力向上を目指していく可能性もあるんだろうと考えております。例えばそこで何かしらエネルギーを生み出す施設を作って、そこで生まれたエネルギーを収

益施設や公共施設の方に使うといった可能性もあるのかなと思っておりまして、そこに関しては民間事業者さんの提案を待ちたいと考えているところでございます。以上です。

○高野会長　はい、草野委員よろしいですか。

○草野繁春委員　その辺はいろんな住民の様々な意見を考慮しながら、できるだけ魅力あるもの、それを作り上げていってもらいたいと思いますので、よろしくお願いしたいと思います。

○観光移住課　先ほど今の飲食物販だと普通のサービスエリアと一緒だというお話をしましたけども、人口がどんどん減っていく中で繰り返しお越しいただけるような場所にしていく必要があるんだろうと思ってます。そういう意味では、もう1回行ってみたいと思えるような仕掛けが必要になってくると思いますので、そういったことを意識しながら検討を進めていきたいと思っております。

○高野会長　それでは他に、鈴木委員お願いします。

○鈴木委員　今回この周辺開発に合併特例債使えなくなるという噂ございますがどうですか。

○高野会長　担当課の回答お願いいたします。

○観光移住課　合併特例債の活用についてはまだ正式に決まった話ではありませんので、明確にお話はできないんですけども、計画上は合併特例債の活用を想定した中で収支計画を立てております。基本的にはその時に考えられる最も有利な財源を活用しながら整備することを考えております。以上です。

○高野会長　鈴木議員よろしいですか。

○鈴木委員　合併特例債は鹿島独自の町作りをしなさいよという事で国から頂いたけるものでありますよね。今回サービスエリアについては南相馬全体の物になったんでしょう？鹿島区の物ではないですよね。鹿島では昔、ある程度自主財源が欲しいというわけでサービスエリアを考えたわけです。今回、鹿島区には何の税金も入ってこない。自治振興基金も増えないんだったら南相馬市で2・2・6で負担する合併特例債ですが、、鹿島だけ特例債使うのはとんでもないと私は思ってるんです。 参考にしていただきたいと思います。せっかく110億ももらえる特例債です。温浴施設のビジホクラスに使用する噂もございますので、そういうことのないようにお願いした

いなと思います。

○観光移住課　合併の時の約束で、550億円を2・2・6で分ける話があったと私も記憶しております。それはあくまで事業費の割り振りでして、合併特例債の割り振りではなかったと認識しておりますが、今、鈴木委員からいただいたご意見も踏まえて市役所内部でも合併特例債の活用については重ねて検討していきたいと思っています。以上です。

○高野会長　セデッテかしまの年間利用が多いのは、先ほど佐藤委員の方からあったように四倉と鳥の海があるということで、四倉の方は駐車場が狭い、鳥の海はパーキングエリアだというようなことで、もし四倉が拡張されたり、鳥の海がサービスエリア化してしまったりするとなるとセデッテかしまの利用者は少なくなるんではないかと思います。これは前々から話してることであって、具体的にこのスケジュールを見ますと、12年度開業運営スタートということで、大体もう固まってきていると思いますので、今すぐに開業することは不可能ですから、12年度にこのような構想で開業するんだよということをある程度今のうちからPRしていかないと、鳥の海などの違うところに、地元の要望があるからということで、ネクスコ東日本の方で許可したり作ったりしてしまわないような対応をしていかないとこの計画が崩れてしまいますので、その辺はネクスコの方と協議しているのでないかとは思いますが、要望としたいと思います。それでは他にないようですので、この案件につきましては以上となります。

② 泉・北泉周辺等（旧グリーンパークを中心としたエリア）整備・利活用計画（素案）に係るパブリックコメント手続の実施について

○高野会長　議事に入ります。泉・北泉周辺等（旧グリーンパークを中心としたエリア）整備・利活用計画（素案）に係るパブリックコメント手続の実施について、議題と　いたします。担当課に説明を求めます。

≪　資料2　により説明　≫

○高野会長　ご説明いただきましたが、ご質問がございましたら挙手の上、発言お願いします。

○佐藤慎治委員　事業費の25億は、要するに仮置き場の整地のために、国から入ってく

るお金ということですか。

○都市計画課　先ほど鈴木係長の方からご説明いたしましたが、環境省の原状回復費につきましては約16億円程度ということで、現在試算しております。こちらにつきましては環境省と協議中で、金額はもう少しかかると想定しており、先ほど申しました最初の整備につきましてはこれでまとまると思います。以上です。

○佐藤慎治委員　10ページ11ページの絵は、こんな感じやるということで作ったと思うんですが、北泉のキャンプ場は魅力的なところでした。今のキャンプ場は、はらっぱで、流し台が施設のところに何個かある程度なので、大変不便なわけですよね。今のキャンプ場となるとある程度、AC（電源）が欲しい人もいるし、逆にいらない人もいる。ただ、車が中に入っていけるか、この様子だと、車からキャンプ場まで相当歩くわけで、これは今のキャンプ場としてはナンセンスと思うので、もっと具体的に詰めたもので提案してもらえればと思います。

もう一つ、泉官衙遺跡ですが、初めて聞いたので、どんな遺跡なんだろうと思うもので、段階的にと言っているので、ここの遺跡を博物館みたいな感じにはしないんだろうとは思うんですが、この遺跡はどういうものなんですか。

○都市計画課　まずご指摘のキャンプ場つきましては、あくまで計画なので、整備の詳細までは至ってないんですが、ここはオートキャンプ場を想定しています。車の乗り降りができるようなキャンプ場の想定でした。図では車の表現はしてなかったんですけども、都市計画課で管理している北泉海浜総合公園では、多目的広場で臨時キャンプ場を開始しております。多目的広場は芝生の広場なので、車を直接乗り入れできないため、利用者からも入れてもらいたいという意見がきていますが、臨時キャンプ場ということでご勘弁願ってるところです。今後整備する北泉グリーンパークにつきましては、車の乗り入れができて、炊事場がある通常のキャンプ場としてご利用いただけるような形の整備を検討しているところでございます。

続きまして、泉官衙遺跡について、文化財課の方で整備を今検討しておりまして、二次整備を検討している段階になっております。一次整備としては、計画冊子16ページをご覧ください。③泉官衙遺跡史跡公園との連携ということで、この計画についてはグリーンパークを中心としておりまして、いろんな施設が連携しておりますので、連帯や周遊を掲げております。泉官衙遺跡について、もともとここは日本で北側の関所の一つということで、そちらの建物の復元ということで、文化財課が検討しております。現地に行きますと、木で作られた建物の南門が一部復旧されておりまして、その建物の基礎の跡ということで柱をつけたようなもの、緑色の芝生の広場の復元を第一次整備として計画しております。図8利活用イメージの下の段に、屋根付きの建物がありますが、この部分を一部復旧ということで文化財課が検討しております。これ以外の施設につきましては、第二期工事ということで、新たに公共事業評価を受けながら整

備していきたいという話を聞いてございます。以上です。

○佐藤慎治委員　文化財として保存すること私は賛成なんですけども、ただそこにお金かけるよりも、サーフィンする方たちがもっと北泉を利用したいと思うような施設を充実させた方が人は集まるんじゃないかなと思いますがどうですか。

○髙野会長　この遺跡は、本予算ではなくて、文化財課の方で進めている案件なので、今回お話の中で出てるのは文化財課で、特に遺跡の公園をこのグリーンパークの計画の中のコースの一つに取り入れてるということで、グリーンパークが例え何も動かなかったとしてもこの遺跡はこのように整備していくということですよね。補足あればお願いします。

○都市計画課　サーフィンのお話が出たんですけど、サーフィンを担当する課と連携しておりまして、実はこの計画の中ではそのご要望も受けて北泉総合公園の中で新たな駐車場整備というのも検討しております。その他、外付けのシャワーなど意見をいただいておりまして、それはあの公園整備の中で部分的に検討してるものありますただこの計画の中で大規模なお金をかけるものとしては、駐車場整備ということでございます。以上です。

○髙野会長　震災前、ここにオートキャンプ場あったんですよね。一般のキャンプするとこもね。これについては、今の時代の要望に沿った内容を最新のものを設置していくというようなことでよろしいですか。

○都市計画課　はい。

○佐藤慎治委員　要望として、公園の和式トイレは洋式トイレに直してもらいたいな思います。そういうところにお金かけてください。

○髙野会長　それについては別途進んでおりますので、洋式化については実現するところもありますので、ここのトイレが和式ということがありましたら、具体的に言っていただければと思います。はい、他に皆さんないですか。

○大河内俊樹委員　開発地域が街中とは違うので、以前の地域協議会でも公共交通機関の見直しみたいな話もあったと思います。平日に使われる方は年配の方や、ご自身で運転されない方が多いと思うので、ぜひバスの路線などそういったのも含めた上で、多くの方に使ってもらいたいと思うので、この辺のあの路線図とうまく合うような形でやっていただければと思います。要望ですが、回答あればお願いします。

○都市計画課　私どもこういう計画でございますので、バス会社などに話をしながら実現できるように頑張りたいと思います。ありがとうございます。

○髙野会長　では、草野繁春委員どうぞ。

○草野繁春委員　このグリーンパークは、いろいろ遊ぶ遊具がいっぱいある場所ですか。

○都市計画課　遊具があるのは、北泉総合公園になります。

○草野繁春委員　最近、孫と鹿島のわんぱく広場にいったが、そこの遊具が清掃のため利用できなった。結局原町のわんぱくキッズ広場に移動してそこで遊んできました。せっかく来たのに利用できないのは本末転倒だと思います。遊べる場所が、区によって差があるように感じました。その辺を行政としてどう考えるのか。地域の魅力は、子どもたちが楽しく遊べる場所があることだと思います。

北泉についてですが、近くに東ケ丘公園があるんですよね。散策したり、野鳥を見学したり、様々なことができるとこがあります。そういった公園があるが、改めてまたこれだけのものを作るわけですよね。この規模になると維持費すごいと思うんです。相馬の尾浜こども公園の方は、維持が大変と言っていた。国から補助金をもらったのはいいが、あとあとは市で負担しないといけなくなるらしいですよね。その辺の維持費がどのくらいかかるか、これも住民に伝える必要があると思います。

○都市計画課　グリーンパークの維持費について、大体1900万円程度になっており、1900万ベースなんですが、グリーンパークの面積28haございまして、今回の整備面積が11ha程度なっております。そこのほとんどは芝生広場になっておりますので、草刈りの金額になっております。これは、人力草刈の事業経費として計上しておりまして、いま南相馬市の公園で、ロボット芝刈り機を導入しておりまして、そちらで大分経費を圧縮してる結果もございますので、今の計画の段階での概算事業費の算出でございますので、そういうところ詰めながら経費の圧縮等を考えていきたいと思っています。

○草野繁春委員　市の財政が関わる非常に重要なことだと思うんですよね。それがかなりの額がかかっちゃうと、大事な事業ができなくなっちゃいますからそれを心配しています。あと素晴らしい東ケ丘公園があるのに対して、鹿島にはそういう子供たちが遊ぶような場所が果たしてどうなんだろうと不公平を感じました。意見です。

○髙野会長　雲雀ケ原で行った野馬追の旗取りでも、ロボットが稼働していたと聞きまし

た。すごいですね。

○都市計画課　北泉にある芝刈り機を導入したのが都市公園で全国初となっています。その実績に基づいて県でも導入してきている形です。伝承館やロボットテストフィールドで実証実験をやってもいいということで、皆さん導入された経過があります。

○髙野会長　全国発とかそういったすごいことは、どんどんPRしていってほしい思います。南相馬すごいねと言われるようにお願いします。では、塙委員どうぞ。

○塙龍太郎委員　グリーンパークの検討会議に最初から参加させていただいていて、そこで子供たちが集まるような建物、例えば海浜青年の家のような宿泊施設など、唯一無二なものを作りたいという議題で、整備事業の話が盛り上がっていた記憶があったなか、最終的に上がってきた計画は、大分簡素化したと思いました。この中で何がメインとなってるのか、どこで集客をしたいのか、ぼんやりしたイメージがあってもったいない印象がありました。草野繁春委員さんからもありましたが、こどもの集まる場所として捉えた時に、やり方次第では集客できると思うんです。自然があり、海があり、そしてキャンプができるということで盛り上がると思います。既に計画として上がってきているので、今後やるにあたって、グリーンパークの中で、何がメインとして捉えていきたいのか。集客人数の目安は出てこないと思うんですけども、整備による維持費も大分かかっていくなか、そういったものに関するある程度見込みが取れているのか。そういった二点をどのように考えてるか回答いただきたいと思います。

○髙野会長　それでは回答お願いします。

○都市計画課　まず集客についての概算見込みですが、計画本編26ページをご覧ください。来場者の目標値70,000人、現状値では56,224人という数値が出ておりまして、北泉海岸、北泉海浜総合公園、メモリアルパークや官衙遺跡に来られる方を含めて、大体それぐらいということであります。主に北泉海浜総合公園の臨時キャンプ場を行っているんですが、キャンプする上で車を直接入れないのは辛いという意見が多々あり、予約キャンセルがたくさん出てます。まずこのグリーンパークは、体験型施設ということで捉えておりまして、その中で、キャンプ場とグランドゴルフ場につきましては、思い切り活用したいなと考えています。作って終わりじゃなくて、使っていくなかでキャンプ場にした方がいい、グランドゴルフに力を入れたほうがいいなど、そんな意見を踏まえながら、幅を広げていくことを想定しておりまして、それに加えてイベントを開催しながら、外からの人を呼んで、町にも泊まってもらうことを想定しております。建物がないことは確かにそうなんですが、イニシャルコストもかかるため、そ

こはイベントでの集客や町に呼び込むその二つの展開で考えております。そのイメージ図につきましては、素案2ページをご覧ください。階段状に示しておりまして、今後イベントを行いながら、事業を展開していって一気にやらず、段階的にやっていくイメージで考えております。私の方からは以上です。

○高野会長　塙委員よろしいですか。では、佐藤委員どうぞ。

○佐藤慎治委員　説明を聞いていると夢物語に感じるんです。イベントに参加する、そこでイベントをするための施設を作ってどんなイベントをするんですか。ふんわりしていて怖いと思います。それよりも現実的にサーフィン、キャンプ場やドッグランとかをきちんと固めてから、だんだん人が集まってきたら、段階的にやっていくんだったら分かるけど、こういう風にしたいから、このエリアの中に基礎的にこういうものは全部作っていきますと言ってますよね。維持費に1,900万円かかると言ってましたが、もしグリーンパークの方のところを全部芝生にしたとすれば、規模的に3倍ぐらいの大きさですよね。大変怖いような気がするんですけども、もう少し詰めた方がいいと思います。

○都市計画課　サーフィンのイベントをやりたいという声もあり、イベントの固定をするけけじゃなくて、いろんな施設がこの中に収納されていますので、それぞれの係　　でイベントをいろいろやっていくことで多様な使い方ができると考えています。もちろんキャンプ場でイベントをしたり、グランドゴルフ場では大会のイベントもやったりとかもございます。それに関連して北泉総合公園に隣接している泉官衙遺跡もあって歴史の講演的なイベントを行ったり、ドッグランで大会を開いたり、さまざまな活用の仕方を今後検討の課題になってくると思っています。いろんな可能性を探りながらやっていきたいと考えています。

○高野会長　ほかにないですか。では、今出た案を取り入れていただけたらと思います。では、この案件については終了とさせていただきます。

③ 新庁舎建設事業について

○高野会長　議事に入ります。（新庁舎建設事業について）を議題といたします。担当課からの説明を求めます。

≪　　資料3により説明　　≫

○高野会長　新庁舎建設につきましては、10月から始まる内容ですが、何かご意見とあればお受けしたいと思いますけども、ないですか？はい、佐藤委員。

○佐藤慎治委員　二つあります。一つ目、駐車台数は現在とどのくらい変わるのか。もう一つは執務室の床面積ですけど、どのぐらい広くなるのか。市役所や区役所を見たところ、原町の市役所が一番ぎゅうぎゅうで狭そうです。今の床面積の1．5　倍下手すりゃ2倍ぐらい必要なぐらいきついところで執務しているので、その辺どうなりますか。

○高野会長　初めての方もいらっしゃいますから、改めて回答いただければと思います。

○公有財産管理課　まず駐車台数について、新庁舎完成後の駐車台数は245台です。今後多少の増減等があるかもしれないです。庁舎に直接来庁して手続きをする方のための駐車スペースとして必要な台数は90台ぐらいという結果が出ておりまして、そこを満たしていれば十分というところでしたが、敷地的に余裕があり245台分取れそうです。こちらにつきましてはゆめはっとの駐車場部分を利用して建てているので、使い方としてはゆめはっとの駐車場としても利用できます。現庁舎、東庁舎及び西庁舎を解体してその部分はゆめはっとの駐車スペースになります。そこは200台になるので、全体としましては200台＋245台で、445台分のスペースが生み出されるということになります。現在のゆめはっとの駐車スペースとしては320台ぐらい。現庁舎の前側、中庭や北庁舎前だと、80台前後。庁舎の前だけだと限られる台数となりますけれども、新庁舎開庁後につきまして、かなり余裕がもてる計画になります。

執務室スペースについて、標準的な広さですが、特大広く作ってるわけではないです。庁舎の基本計画時点で、今後職員数が減ることが分かっているので、開庁時の人数に合わせた調査サイズではなくて、将来職員が減った先の人数に合わせた広さにしようという計画でありました。正直、狭い形にはなると思うんですけども、将来的に職員数が減った先でも問題にならないようなスペースになります。

○佐藤慎治委員　それは正職員じゃなくて、臨時職員まで入れて考えているお話ですか。要するに正職員の人数減るかもしれないけど、臨時採用は入れますよね。その臨時採用も含めた人数で減らしていくんですか。

○公有財産管理課　会計年度任用職員も込みのスペースになってます。調査の中で非常に狭いとありました。例えば東庁舎の事務スペースについては、広いところと狭い

ところがあります。鹿島区役所は職員スペースが広いです。ただ本庁の中はぎゅうぎゅうのところがあります。新庁舎ではそのようなことはないです。採用計画があるので総務のデータを取り入れながら計画に入れてるということです。

○佐藤慎治委員　今すぐ分かんなくていいですから、データ的に床面積が分かれば教えてください。

○公有財産管理課　既存と比較する資料はございます。いま手元にはなかったです。

○高野会長　今の件につきましては、新庁舎でぎゅうぎゅうで困った場合は鹿島のこちらでも業務できますよ。議論した中で事業費高いんじゃないって話があって、縮小した結果ですよね。将来的な職員人数でギリギリだと思っていますので、よろしくお願いいたします。他にないですか。

○後藤委員　建設関連の仕事しておりまして、いろんな資材の供給が非常に入らなくなってきています。入ったとしても値段が非常に高くなっています。こういう中で計画が施行していくと、イラクの問題が1年2年と続いた場合は開庁の時期も遅れ、コストもかかるかもしれない。例えば、当初100億で始まったものが完了する時に200億だとすると、その時には、皆さんの税金から納めてる事業費を倍増するようになるのですから、例えば工事の最中に97億でスタートしたんですが、いま100億を超えてるとか、そういった情報提供をするのが大事なのかなと思っております。
なかなかその辺は、経済状況の下ですから一概には言えないと思うんですが、そういったある程度途中で説明を踏まえながら市民の皆さんの方にもお知らせがよろしいのかなというお考えを持っております。以上でございます。

○高野会長　はい、要望ということですね。一言お願いしたいと思います。

○公有財産管理課　まさに今、予断を許さない状況だということはあります。それは市場の動向を、今後見ながらということになります。工事着工してその後いろいろなことが仮に悪化して、資材高騰になった場合については、国の方でも当初想定できなかった問題的な要因が非常に強いのではないかということで、インフレスライド単品スライドなど、物価の上昇分については手当ての通知が国からくることも想定されます。着工して3年ぐらいの期間で進めている大規模事業等については、中東情勢で急に工事中に単価が上がることについては、手当をしなければいけないとなり増額変更する際は、議会の承認が必要になる仕組みになっております。特にこの新庁舎については価格が大きいものですから、総額の変更が工事の途中で起きた場合には議会から了解をいただいた上でということになっておりますので、そういう形でお知らせをしながら進めていくことになるのかなと考えています。

工事は11年5月までということで、お話しています。これについては、標準の工事期間＋αであると担当課としては考えています。これが伸びるような時については皆様にお伝えをすべきなので、分かれば早めにお知らせをしながら進めていきたいと思ってます。以上です。

○高野会長　はい、よろしいですか。他にいないですか？

○草野繁春委員　大変な時期に着工になると思うんですよね。物が入ってこない現状がありますけど、その中で上限なくどんどん張っていくとなると市の財政にとって問題になる思うんです。その辺は住民にもお知らせいただければと思います。
新庁舎について、今の庁舎の階段が急で高いんですよね。高齢者は大変です。意見としてお願いしたいところです。

○公有財産管理課　各区役所について、新庁舎ができたことによって組織が大きく動きます。それによって、色々な庁舎の有効活用については考えていかなければいけないと思っておりますので、これについては新庁舎担当課だけではありませんが、庁内全体含めて検討していきたいと思います。意見としてどうもありがとうございます。

○高野会長　ありがとうございました。この件につきましては、以上とさせていただきます。

④ 鹿島駅駅舎の利活用について

○高野会長　時間になりましたので、再開させていただきます。それでは鹿島駅駅舎の利活用について担当課からの説明を求めます。

≪　　資料4により説明　　≫

○高野会長　説明が終わりましたので、質疑に入ります。質問ある方は挙手の上ご発言

になります。

○佐藤慎治委員　私は今年度から参加してるので、今までの経緯が分かんないんですけども、鹿島駅利用施設整備計画の中に山口県の三見駅を例としてあげているわけで、駅舎を残すかっていうことに関して、常磐線で最古の駅舎ということを謡っているんですが、外観を三見駅のように、ある程度今の様子が残るような設計がいいんじゃないかという意見は出なかったのでしょうか。

○高野会長　はい、それでは分かってる範囲で、これまでの計画を含めてざっくりと話して頂けますか。

○鹿島区地域振興課　すべて正確とはならないんですが、外観の部分については今の駅舎自体が何回も改修している状況もあって、明治ぐらいの時の雰囲気は保っているような状況でもあるのかなと思います。そういった中で、最古の駅というのもあり、今の状態をそのまま残すのは、歴史的価値があるのか、文化財的に残すのかという議論までは至らなかったのかなと思ってます。ただ、今回この資料にあるパースの絵を見ていただくと、一番初めの駅舎の佇まいをベースとして、外壁や屋根材は時代と共に変えてはいるので、全体の形を残しながら検討会の中でも柱とかそういったところは極力残すとかは耐震改修もしながら実現可能なので、元に戻すことは難しいんですけど、今の形を改修しながら残しながら、出来た当初の感じが見えるように改修していったらどうかというのはご意見だということで聞いております。

○佐藤慎治委員　三見駅のように外観は残し、中に関しては断熱材をばっちり入れて、居住空間のいいものに作り変える方が私はいいんではないかと思うんですが。

○草野繁春委員　かなり検討しました。今佐藤さんが言ったような意見も出ました。ただ、耐震とか様々な重要な要素もありますからそういうものは専門的な事も踏まえて今のような形状に押し入ったのが住民の意見だと思ってます。ですから、決して今言った意見をないがしろにしたわけじゃないと思うんですけど、できるだけ前の雰囲気を残したいという意見はありましたし、それに向けての設計があったと思ってます。それはただ単に決めたんじゃなくて、住民でワークショップをやりながら、この形を作りました。今回の駅舎に関しては、かなりの住民の声、商工会青年部でもいろんな住民の方の意見アンケート取りましたし、かなり緻密な住民との連携を互いながら作り上げた存在と思ってます。

○高野会長　鹿島駅に関しては極端なこと言うと、なんでこんな昔の形を残さなくちゃならないのかという意見もあって、新築した方が安いというようないろいろな意見があった中で、これだけ議論して緻密に進めていった案件ないんじゃないかというぐら

い。利用するとされる人たちの意見も相当取り入れてますので、草野委員の話もありますように相当稟議されてこちらの要望も取り入れてもらった結果なのかなと私は思っています。

○星次長　まさにおっしゃる通りでございまして、やはり古いだけにこの耐震性とかそういう問題もあるので、まず鹿島駅の形をしっかり残しましょうという意見もあったかなと思いますので、そういう形で今に至っています。

○高野会長　古いと言っても、これは文化財的にそのまま残すほどの古さではなかったと記憶しています。

○佐藤慎治委員　大阪城と同じように鉄筋コンクリートで私はいいと思うんです。要するに、撮り鉄の人たちが鹿島駅を写真に撮りに行きたいと思うためには、外観は新素材でいいけれど、ある程度古い建物の形で中は鉄骨でいいんですよ。そういう意見ではなかったのかな。

○高野会長　なかったと思います。いずれにしても観光を考えてなくて、一番の目的は、駅を残すことでした。無人駅になので取り壊し予定だったんです。どんな形でもなんとかしたいということから始まったんです。

○草野繁春委員　駅舎をJRではコンパクトにしたいとあったので、それは違うのではないかとなり住民の意見を集めて、今のような形になったのが流れですね。

○高野会長　今回はこのようにまとまってますので、どんなふうに活用していくとか、こういう風にしたらどうだろうというのはこれからでございますので、ご意見いただければと思います。大体この形に決まってて遅れるほど、いつになったら仕上がるのかなど出てきます。こうやって全体的に見てみますと、2年後3年後4年後ぐらいに大体いろんなものができてくるのかなと思いますので、ご理解いただければと思いますので、よろしくお願いします。ほかにご意見ないですか。

○草野繁春委員　市の運営にしても、指定管理人にしてもちょっとしたスペースや事務所的なものは必要だという話もあったんですけど、その辺はいかがなのかな。休める場所とかありますか。

○鹿島区地域振興課　このレイアウトを見させていただいた時、確かに事務所的なところはないというところで、前担当の方にも、いろいろな結果確認した時には、このまとめた段階ではスペースの問題もあって、議論もあったんですが、今の段階で入れてなかったので、それを駅周辺の店舗とかの中で使いながら、運営者の方がそういったところに常駐しながらなんていうのも当時そんな議論をしていたという

のがあります。今おっしゃっていただいたような部分をこれから具体的な基本設計を実施する中で、運営に対してどういったスペースが必要なのかをこれから具体的に議論していくので、そこは今の我々としても課題であります。ただ、昨年度末の段階だとスペースの議論はあったんですが、今言った外の方に設けるのを想定しながらではなかったです。

○草野繁春委員　そこら辺きちんと考えておかないと、後であれってなっちゃうから、よろしくお願いいたします。

○大河内俊樹委員　駅前広場周辺開発の件で駅前広場の北側の農協さんの駐車場の土地ありますけども、その農協さんと交渉してるみたいな話だったと思ったんですが、今現在のその交渉の進捗状況だったり使えたりするかどうかを、現在時点で教えていただければ。

○高野会長　はい、お願いします。

○鹿島区地域振興課　JAさんについては、昨年度からそういった話はあったとは聞いてるんですけど、まだ具体的に使いたいとハッキリ言ってないのですが、厳しめの感じの話は聞いてはいました。昨年、大河内委員から聞いております課題があったと思うので駅前の広場や南側に移った時に、さらに北があるのもトータルとして設定できるエリアだと思うんです。これから要相談なので、現地点だとはっきりできる使えないところの整理まではしております。

○高野会長　あそこの建物と駐車スペース、あと土地等についてはJAでは相当前に売却してまして、私の方で声かけをしてその時になったら最大限に協力するとの回答をいただきました。ありがとうございましたと私言われたので前向きな方向だと思うんですよ。 具体的にまだ話してないからだけど、恐らくそうだと思います。改めてちゃんと確認していただければと思います。有益な土地なので計画立てる前に交渉してもらった。今後、話してもらって具体的にうまくできるようによろしくお願いします。
他にないですか。この件につきましては以上とさせていただきます。
はい、それではその他ということで、お願いします。

○鹿島区地域振興課（係長）　地域振興課の方から3点、報告と共有をさせていただきます。資料は左上にその他事務局よりという資料なのでご覧いただきたいと思います。三点まとめて説明させていただきます。まず一つ目なんですが、鹿島区で実施している、またはこれから今検討している事業や取り組みにつきまして、どんな現状でどんな動きになっているか、今後どういう予定で進んでいくのか、またこ

のような駅舎イベントがありますというような情報共有を地域協議会の中で共有させていただきたいと思っております。その中で進捗状況を踏まえて、細かい説明が必要な案件については担当課を呼んで説明していく感じで進めていきたいと思っております。7月から情報共有について皆様にお伝えしていきたいと思っております。
今想定している事業は、本日説明もありましたけど、サービスエリア、駅舎、八沢小学校・幼稚園の利活用、牛島地区の開発、サイクリングロードや万葉ふれあいセンター利活用の検討状況も皆様にお知らせしていきたいと思っておりますので、そんなスケジュールでご報告させていただきたいと思います。
二つ目が、地域協議会における自治振興資金を活用して課題解決のための事業化検討についてご相談ということでさせていただきます。鹿島区の地域課題の対応について、2月に委員の皆様からいろんなご提言いただきまして、その提言をベースに行政の方で事業化の検討を進めておりまして、これまで通り進めていきたいと考えているんですが、その提言のスキームを活用しながら自治振興基金を活用しまして、我々事務局も一緒になってこの課題解決のための事業について、アイディア創出や実証テストをやって最終的に本格的な事業化をしていくような流れにしていくのはどうでしょうか。
一枚めくっていただきまして右下2ページ、目的のところで皆様と区役所職員が一緒に地域の課題を考えて、いろんな事例から学んで事業化を守らなきゃいけないと考えておりまして、3ページ見ていただきたいんですが、一気に何かをやるよりはいろんな地域の課題を設定して小さく実証実験を2年目なんかでやっていきながら、そこで出た成果とか課題というものを踏まえて、次の正式な行政の予算化とか、民間でやれる部分は民間でやるというところで、いまの任期中にある程度形にして事業化できないかなと考えています。そういうところを一緒に考える事で、官民、民間と我々のような職員との信頼関係であるとか、いろんな方を巻き込んで進めていくことができないかと考えております。
4ページ最後ご覧いただきまして、これまではもう先進リサーチとかやっていると思うんですが、1年目についてはキックオフということで課題を洗い出して、テーマを決めて重点的に取り組む課題を一つ決めて、その後勉強会だったり、視察やワークショップなどをしたりして実証実験をやっていきながら、この事業化をしていくような形で、皆さんと取り組んでいくのはどうだろうかなというところで、ご相談をさせていただいきたいと思っております。
次回開催日程なんですが、7月30日（木）13時半からお願いしたいと思っております。それが終わりましたら、今期の新しい委員と3月いっぱいに退任された地域協議会の委員さんで、懇親会をやれないかと思っておりますので、7月30日地域協議会と懇親会どうでしょうか？　以上です。

○高野会長　ご質問ある方、いらっしゃいますか。

○佐藤慎治委員　八沢小学校、八沢幼稚園の利活用なんですが、今動いてるとは思うんですけども、鹿島には生涯学習センターが1箇所ですよね。原町は各地区に生涯学習センターを持ってるわけで八沢小学校を八沢生涯学習センターとして活用することはできないのか要望としてあります。

もう1個は、今サイクリングロードと言いましたけども、あのサイクリングロード所々切れて歩道のないところがあって危険なので、南相馬市は河原の土手の補装化を急ピッチでされてますよね。ですから鹿島区の川の土手の舗装化を進めていけば、セデッテかしまからもそのところを使って、サイクリングロードをたくさん作れると思うんですね。真野川のところもできますし、あの支流のところもできますし、そういう風な考えはないのでしょうか？

○高野会長　では、これまでの結果も含めてお願いします。

○星次長　八沢小学校の生涯学習センター化という話がありました。この案件については議会でも質問がされてる状況でありまして、原町区のようにということで頼んだ要望がありました。議会では教育委員会で答弁をされておりまして、小学校を生涯学習センターのような形にするという考えは今のところないというお話でございました。旧八沢小学校利活用の関係で公募型のプロポーザルの事業の提案の募集が始まりました。特にこうじゃなきゃダメだということではなく、色々な提案を受けて、福祉、子育て教育、文化観光振興、市外からの交流人口の拡大などにつながるような事業提案を条件するということで、募集をかけております。生涯学習センターは鹿島に一つしかないので、それぞれにできないかということのご意見もありますけども今のところ八沢小学校をそういう形にするのは、市では難しいというお話をされており、このプロポーザルの募集によって別な形で地域に根差した形で利活用してもらうということも可能かなと思いますので、5月15日に募集開始して、募集の締め切りが来月7月15日だったので、情報共有いたしました。

あともう一つです。サイクリングロードの質問でございますが、川の堤防の補装については、市の事業ではなくて県の河川管理の関係で補装化をしております。市長から鹿島の真野川サイクリングロードを川沿いのところに、コースを指定して生かせないか検討をしなさいという話もあります。ほかのところにもつなげるような形で広げていく考えもありますので、いろいろ検討していきたいと思っております。安全性については、県道のところにサイクリングでここを通りますよという青印の矢羽根と言う矢印がついてるところがありまして、そういうのをやってみてはどうかということも考えており、福島県と話し合いを各課でしてまして、県でナショナルサイクリングルートの指定に向けて動いてる部分とその他に広域ルートで指定するそこの一部に鹿島の真野川親水サイクリングロードが指定されてますので、それに合わせて県で矢印をつけますよという話をいただいてます。当初8年度に作る予定だったんですけど、

遅れている感じもありますので、そことうまくタックを組みながら、安全性の確保にも繋げていきたいと考えてございます。以上です。

○高野会長　この件につきましては、今後進捗状況の説明がありますので、その都度、ご意見頂くみたいになると思うので、よろしくお願いします。鈴木委員どうぞ。

○鈴木清教委員　合併特例債の使用について、この協議会が決めないといつまで経っても駄目。せっかく110億という特例債を鹿島区民のために約束して議会だよりで報告した経過もございます。使い道について、ある議員の報告を見ますとまだ20億余っている話もあります。黙っておくと、南相馬市全体で使ってしまうことになってしまうと思います。先ほど報告があった新庁舎の建設に40億合併特例債を使うと。15、6年前に約束してるんですよ。そうした分について全然まだタッチしてないというか、地域協議会の皆さんにしっかりしてもらわないと困ると言う市民の声もございますので、しっかりここで決めていただきたいと思ってます。

○星次長　合併特例債の活用については、市でもどういう使い方がいいのか、大きな事業で使うか、鹿島のために使うのが大前提だと思いますので、我々も、もしそういう案件があれば地域協議会に報告いただくような形になります。

○鈴木清教委員　今年度中にきちんと決めないと、大型事業であれば令和12年に完了しなければだめだということになってますので、注意していただきたいと思います。

○草野禎夫委員　資料その他の(2)鹿島区地域協議会における自治振興基金等を活用した地域課題の解決のための事業化検討について、本当にやるんですか。大変じゃないですか。

○星次長　大きいことは難しいと思うんですけど、まず課題解決にあたってどういう風にした方がいいか皆さんと共有しながら決めて、小さいことからできるものを2年の中で進めていければと思います。

○草野禎夫委員　自治振興基金を使ってやったものありますよね。みんな知らないと思うんで、教えてください。

○星次長　毎年1月の地域協議会で自治振興金を使わせてくださいという報告をしていました。震災以降全然使っていなくて、過去にどんなことに使っていたのか

は、改めて新しい委員もいらっしゃるので報告したいと思います。
昔の課題にあったもので使ったかもしれないので、新たな課題解決に100万単位とか数十万単位でできるものからスタートでもいいと私は考えてます。そういう形で、例えば団体から来ていただいている方もいらっしゃいますので、団体それぞれで協力し事業化して、必要なタイミングで使えればと思っています。

○高野会長　今回は、事業化検討に向けてこんなことを取り組んでいいですかということなので、よければこれから進んでいくということになります。
では、その他の件についてよろしいですか

○大河内委員　自治振興基金で、どんどん使って盛り上がるんであればいいのかなと個人的には思ってます。それで、平成の大合併で、自治振興基金を積んでる地域って南相馬市以外であるのかなと思うので、お手間取らせますけど、ほかの地区でこういう使い方したとかをお示しいただけると、僕らもゼロベースでやってるよりかは事例がありますよって言われたものから見せていくのがやりやすいのかなと思うので、その辺り後々資料いただけると助かります。

○高野会長　次回2ヶ月後ですので、よろしくお願いしたいと思います。
他にないですか。あと、懇親会はやるっていう方向でいいですね。じゃあ、進めていただいて他にないので、事務局の方にお返しいたします。

○星次長　長時間にわたりましてありがとうございました。本日にはこうやって皆さんと集まるのは、鹿島区では実際1回目です。このような形で盛り上がっていただいて、いただいた意見をしっかりと受け止め、先ほど提案させていただきました実施時に活用する事業については、もうずっと我々もやりたくてもできなかったものなので、ぜひ皆さんのご協力をいただきたいと思います。では、説明を以上させていただきます。ありがとうございました。

以上のとおり相違ありません。

会　　長　高野 邦弘

会議録署名人　太田 真樹子

会議録署名人　北元 幸一